

大学番号：私450

注3

届出

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

相愛大学 音楽学部 音楽マネジメント学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 相愛学園  
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名

電話番号 06-6612-5902

（夜間） 06-6612-5900

F A X 06-6612-2994

e-mail g-shitsu@soai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況，経費	12
4	既設大学等の状況	13
5	教員組織の状況	14
6	留意事項に対する履行状況等	25
7	その他全般的事項	28
	別紙1	31
	別紙2	32

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 相 愛 学 園

## (2) 大学名

相 愛 大 学

## (3) 大学の位置

〒559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4番1  
〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4丁目1番23号 (2年次から使用)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	( デグチ タンリュウ ) 出 口 湛 龍 (平成17年6月)	( カネコ サトル ) 金 児 暁 嗣 (平成24年1月)	前任者が平成23年12月31日をもって辞任のため(24)
学 長	( カネコ サトル ) 金 児 暁 嗣 (平成22年4月)		
学 部 長	( オオマエ サトシ ) 大 前 哲 (平成20年4月)	( タケバヤシ ヒデノリ ) 竹 林 秀 憲 (平成24年4月)	前任者が平成24年3月31日をもって任期満了退任のため(24)
学 科 長 等	( ヤスイ トシオ ) 安 井 敏 雄 (平成23年4月)	( オオイワ ハジメ ) 大 岩 元 (平成25年4月)	前任者が平成25年4月10日をもって辞任のため(25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
音楽学部 音楽マネジメント学科  学士(音楽マネジメント)	4年	50人	— 年次 人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	50 ( - ) [ - ]	—	50 ( - ) [ - ]	—	50 ( - ) [ - ]	—	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	0.44倍	
志願者数	20 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	23 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	28 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	20 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	23 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	27 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	20 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	23 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	27 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	19 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	21 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	27 ( - ) [ 1 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.38		0.42		0.54							

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 19	[ - ] -	[ - ] 21	[ - ] -	[ 1 ] 27	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] 19	[ - ]	[ - ] 21	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次			/		/		[ - ] 15	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]
4年次	/						/		/		[ ]
計			[ - ] 19	[ - ]	[ - ] 40	[ - ]					[ 1 ] 63

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	19人	4人	平成23年度	0人	0人	進路変更(2人)、他大学編入(1人)、一身上の 理由(1人)	21.1%
			平成24年度	4人	0人		
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	21人	0人	平成24年度	0人	0人		0%
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	27人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
合計	67人	4人					6.0%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<音楽学部 音楽マネジメント学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	I群	建学の精神	1前・後	2							兼7		
		仏教思想と現代	2前・後	2							兼5		
		科学と人間	2前		2						兼1		
		環境と人間	2前		2						兼1		
		生命と人間	2後		2						兼1		
		大学生のための日本語入門	1前・後		2						兼5		
		II群	日本語表現法	2前・後 未開講 2前・後		2						兼3	通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24)
	基礎科目・共通科目(大学共通)	人文系	文学と人生	1前		2						兼1	
			音楽の楽しみ	2後 2後 2前		2						兼1	履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24)
			西洋美術史	2前 未開講 2前 2後		2						兼1	通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24)
西洋文化史			1前 1前 1前		2						兼1	履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
美学			1後 未開講 1後 1後		2						兼1	通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
日本歴史入門			1前 1後		2						兼1	開講時期適正化のため変更(23)	
世界歴史入門			2後 2後 2前		2						兼1	履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24)	
地理学入門(地誌を含む)			1後 未開講 1後 1前		2						兼1	通常開講(24) 開講時期適正化のため変更(23) 履修希望者がいなかったため(23)	
倫理学入門			1前		2						兼1		
心理学入門			1後		2						兼1		
社会科学系		社会学概説	1前 1前・後 1前		2						兼1	開講時期適正化のため前期に変更(25) 履修希望者がいなかったため(25) 開講時期を前期と後期に変更(24)	
		社会と芸術	1後 未開講 1後		2						兼1	通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		経済学入門	1後 1前 未開講 1前		2						兼1	開講時期適正化のため後期に変更(25) 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		経営学入門	2前 未開講 2前		2						兼1	通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		マーケティング入門	2後 2前 2後		2						兼1	開講時期適正化のため後期に変更(25) 開講時期適正化のため変更(24)	
		観光学入門	2前 2前		2						兼1	平成25年度は、未開講(25) 履修希望者がいなかったため(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目・共通科目(大学共通)	社会科学系	政治学入門	1後 1後 未開講 1後		2							平成25年度は、未開講(25) 兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)		
		法学入門	1前		2							兼1		
		日本国憲法	1前・後 1後 1前		2								兼2 開講時期を前期と後期に変更(25) 開講時期適正化のため変更(23)	
	自然科学系	教育原論	1前・後		2								兼1 履修希望者がいなかったため(25)	
		数学入門	2前 未開講 2後		2								兼1 開講時期適正化のため前期に変更(25) 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		地球と宇宙	1前 1後 未開講 1後 1前		2								兼1 開講時期適正化のため前期に変更(25) 通常開講(24) 開講時期適正化のため変更(23) 履修希望者がいなかったため(23)	
		物理学入門	1後 1前		2								兼1 開講時期適正化のため変更(23)	
		科学史入門	1前 未開講 1前		2								兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		化学入門	1後 未開講 1後 1後		2								兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		生物学入門	1前 1後		2								兼1 開講時期適正化のため変更(23)	
		現代と医学	2後 2後 2前		2								兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(24)	
		看護介護入門	1後 未開講 2前・後		2								兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		健康科学	2前・後 2後		2								兼2 履修希望者がいなかったため(25) 開講時期を前期と後期に開講(24)	
		健康とスポーツ実習	1前・後		1								兼4	
		生涯健康とスポーツ実習	2前 2前 2前・後		1								兼2 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期を前期に変更(24)	
		キャリアデザイン論	1前 未開講 1前 1後		2								兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 開講時期適正化のため変更(23)	
		キャリアデザイン演習	2後 2後		2								兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		その他の	インターンシップ	3前 3前・後		1								兼1 開講時期適正化のため前期に変更(25) 履修希望者がいなかったため(25)
			情報処理演習	1前・後		2								兼5
			情報と社会	1前 1前 1前		2								兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	生涯学習概論		1前 1後		2								兼1 開講時期適正化のため変更(24)	
	図書館概論		1前		2								兼1 司書課程変更により科目を追加(24)	
	図書及び図書館史		1前		2								司書課程変更により科目を削除(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
	ボランティア論		2前 未開講 2前		2								兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
	ボランティア体験		2後 2後		1								兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
	教職入門				2								兼1 教職課程変更により、 平成25年度入学生から名称変更(25)	
	学校と教師		2前・後		2									



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目・共通科目（大学共通）	共通科目 ① その他	人権教育	2前・後		2							兼2 履修希望者がいなかったため(25)	
		異文化間教育論	2後 2後		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		宗門法規	2前 2前		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		布教法	2後 2後		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		勤式作法	2前 未開講 2後		2							兼1 開講時期適正化のため前期に変更(25) 通常開講(25) 平成24年度は、未開講(24)	
	語学関係 I 共通科目 ②	英会話 I	1前		2							兼6	
		英会話 II	1後		2							兼6	
		英会話 III	2前 2前		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		英会話 IV	2後 2後		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		英語 I	1前		2							兼5	
		英語 II	1後		2							兼5	
		英語 III	2前 2前		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		英語 IV	2後 2後		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
		ドイツ語 I	1前 未開講 1前		2							兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		ドイツ語 II	1後 未開講 1後		2							兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		イタリア語 I	1前 未開講 1前		2							兼2 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		イタリア語 II	1後 未開講 1後		2							兼2 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		フランス語 I	1前		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25)	
		フランス語 II	1後		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25)	
		中国語 I	1前 1前 1前		2							兼2 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		中国語 II	1後 1後 1後		2							兼2 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
		語学関係 II	資格英語 I A	1前 未開講 1前 1前		2							兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
			資格英語 I B	1後 未開講 1後 1後		2							兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
			資格英語 II A	1前 1前 1前		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
			資格英語 II B	1後 1後 1後		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	資格英語 III A		2前 2前		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	
	資格英語 III B		2後 2後		2							兼1 履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I 群	音楽基礎演習A	1前	2								兼1	
	音楽基礎演習B	1後	2								兼1	
	ソルフェージュA	1前	2			1					兼1	
	ソルフェージュB	1後	2			1					兼1	
	合唱	1後		2							兼1	
	諸民族の音楽	2前・後 2前		2							兼1	開講時期を前期と後期に開講(24)
	音楽の歴史A	1前		2							兼1	
	音楽の歴史B	1後		2							兼1	
	ポピュラー音楽概論	2前	2			1						
	コード・プログレッション	2前	2			1						
	和声学	2後	2			1						
	キーボード・ハーモニー	2後		2							兼2	
	作・編曲法基礎	3前	2			1					兼1	
	作・編曲法応用	3後	2			1					兼1	
	楽器学	3前		2							兼1	
	楽曲分析	4前	2								兼1	
	音楽演習I A	1前	2			1					兼15	
	音楽演習I B	1後	2			1					兼15	
	音楽演習II A	2前	2			1					兼15	
	音楽演習II B	2後	2			1					兼15	
	音楽演習III A	3前		2							兼16	
	音楽演習III B	3後		2							兼16	
	音楽演習IV A	4前		2							兼16	
	音楽演習IV B	4後		2							兼16	
	合奏I A	1前		2		1					兼4	
	合奏I B	1後		2		1					兼4	
	合奏II A	2前		2		1					兼4	
	合奏II B	2後		2		1					兼4	
	合奏III A	3前		2		1					兼5	専任教員追加(25)
	合奏III B	3後		2		1					兼5	専任教員追加(25)
	合奏IV A	4前		2							兼5	
	合奏IV B	4後		2							兼5	
	歌唱法	2後		2							兼1	
	コンピュータミュージック基礎	3前	2								兼1	
	コンピュータミュージック制作	3後	2								兼1	
	II 群	音楽マネジメント入門	1前	2			2	2	1			
音楽マネジメント・リーダーシップ論		1前	2								兼1	
キャリアデザイン		1後		2							兼1	
コミュニケーションと交渉術		1後		2							兼1	
音楽とコンピュータ		1後		2		1						
プログラミング基礎I		1前 1後	2			1						開講時期適正化のため変更(24)
プログラミング演習I		1後	2			1						
プログラミング基礎II		2前		2		1						
プログラミング演習II		2後 2前		2		1						開講時期適正化のため変更(24)
アーティストのソフトウェアA		1前・後 1後		2					1			開講時期を前期と後期に開講(24)
アーティストのソフトウェアB		2前		2					1			
ビジネス英語A		2前	2								兼1	
ビジネス英語B		2後	2								兼1	
音楽企画概論		2後		2			1					
音楽企画演習		2後	2				2	1				
音楽コンテンツ配信の基礎		2前		2			1					
デジタル音楽機器演習A	2前		2			1						
デジタル音楽機器演習B	2後		2			1						
プレゼンテーション	2後		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	II 群	インターンシップ研究	3前	2			2 +	2	1			専任教員追加 (25)	
		インターンシップ実習	3後	1			2	2	1				
		ビジネス中国語A	3前		2							兼1	
		ビジネス中国語B	3後		2							兼1	
		音楽著作権	3後 3前		2							兼2	開講時期適正化のため前期に変更(25)
		音楽ビジネス起業論	3前		2			1					
		音楽事業管理論	3後		2			1					
		音楽事業経営論	3後		2			1					
		国際文化関係論	3前		2							兼1	
		アーティスト論	3後		2			1					
		音響学A	3前		2							兼1	
		音響学B	3後		2							兼1	
		音楽出版と広告メディア論	4前		2							兼1	
		マンガ・アニメ音楽文化論	4後		2							兼1	
	ゲーム・ミュージック文化論	4前		2							兼1		
	音楽ビジネスコース 専門科目	芸術経営論	2後	2				1					
		デジタル音楽基礎概論	2前		2							兼1	
		IT音楽産業概論	2前		2		1						
		音楽企画実習	3前	1				2	1				
		音楽産業と文化政策	3前		2			1					
		録音の技術と表現	2後		2							兼1	
		アートマネジメント研究	3後		2		1						
		サウンド・リインフォースメント	3後		2							兼1	
		舞台組織機構概論	3前		2							兼1	
		映像と音楽と放送	4後		2							兼1	
		音楽ビジネス演習	4前	2			1	2					
		音楽ビジネス卒業研究	4後	2			1	2					
		IT音楽産業コース 専門科目	デジタル音楽基礎特論	2前	2								兼1
			IT音楽産業特論	2前	2			1					
	音楽産業ネットワーク論		2後		2		1						
	音楽とライブラリ構築		3前		2							兼3	
	コンサート企画実習		3前		1			1	1				
音楽マーケティング論	3後			2							兼1		
Webデザイン	3後			2							兼1		
音楽と情報科学	4前			2				1					
CGプログラミング	4前			2							兼1		
IT音楽産業演習	4前		2			1		1					
IT音楽産業卒業研究	4後	2			1		1						

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	132	0	167	35	132	0	167	
				[ 0 ]	[▲1△1]	[ 0 ]	[▲1△1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	勤式作法	2	2	一般	選択	旧課程との兼ね合い及び同科目区分の開講数を勘案した結果、今年度は未開講とした。 来年度開講のため代替措置は無し。(24)
2	観光学入門	2	2	一般	選択	隔年開講科目のため、今年度は未開講とした。 (25)
3	政治学入門	2	1	一般	選択	平成25年3月に担当者より就任辞退の申し出があったため、今年度は急遽未開講とした。(25)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	図書及び図書館史	2	1	一般	選択	図書館法施行規則一部改正に伴い、司書課程科目を変更した結果、当該科目は、名称変更の上、資格課程に移行した。 代替措置として「図書館概論」を追加した。 (24)
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 今年度開講されない科目は、選択科目であり、他の選択科目が十分に開講されているので学生の履修に支障はないものとする。学生には、開講されない科目は、ガイダンス等を通じて来年度開講する旨を説明している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	相愛高校 (収容定員:1,200名) 相愛中学校 (収容定員:450人) と共用 届出面積 7,077㎡ セミナーハウス減 (24)			
	校舎敷地	53,868 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	60,945 ㎡				
	運動場用地	13,028 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	13,028 ㎡				
	小 計	66,896 ㎡	1,263 ㎡	5,814 ㎡	73,973 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡ <del>3,086 ㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡ <del>3,086 ㎡</del>				
	合 計	66,896 ㎡ <del>69,982 ㎡</del>	1,263 ㎡	5,814 ㎡	73,973 ㎡ <del>77,059 ㎡</del>				
(2) 校 舎		専 用 35,331 ㎡ ( 31,450 ㎡)	共 用 0 ㎡ ( 0 ㎡)	共用する他の 学校等の専用 0 ㎡ ( 0 ㎡)	計 35,331 ㎡ ( 31,450 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 (補助職員 1 人) (補助職員 0 人)			
	47 室	13 室	129 室	7 室	1 室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	音楽学部 音楽マネジメント学科			9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	購入図書冊数増による (23) 購入図書冊数増による (24) 購入図書冊数増による (25) 購入機器増による (24)	
	音楽マネジメント学科	12,501 [2,010] (12,530 [2,014]) <del>(12,249 [1,992])</del> <del>(11,953 [1,971])</del> <del>(11,511 [1,920])</del>	46 [32]	21 [21]	927	5,729	1		
	計	12,501 [2,010] (12,530 [2,014]) <del>(12,249 [1,992])</del> <del>(11,953 [1,971])</del> <del>(11,511 [1,920])</del>	46 [32]	21 [21]	927	5,729	1		
			46 [32]	21 [21]	(927)	(5,018) <del>(3,983)</del>	(1)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			改装に伴う座席数増 (25)		
	4,110 ㎡	339 359		244,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					3,024 ㎡ テニスコート6面、ゴルフ練習場		
	3,024 ㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	個人研究費の金額を減じ、減じた額を大学全体の研究経費に増させた (23)
		教員1人当り研究費等	200千円 360千円	200千円 360千円	図書購入費	1,500千円	2,100千円 1,500千円	1,500千円	
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	50,000千円	95,000千円 80,000千円	3,000千円	図書・設備購入費増額 (24)	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,800千円	第2年次 1,500千円	第3年次 1,500千円	第4年次 1,500千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	相愛大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
音楽学部								大阪府大阪市 住之江区南港中 4丁目4番1		
音楽学科	4	120	-	480	学士 (音楽)	0.68	平成 12年度			
音楽マネジメント学科	4	50	-	150 <del>100</del> 50	学士 (音楽マネジメント)	0.44	平成 23年度	音楽マネジメント学科 は、2年次より、 大阪府大阪市中央区本 町4丁目1番23号 も利用	学年進行による収容 定員の増加 平成23年度設置	
人文学部										
日本文化学科	4	-	-	-	学士 (人文学)		昭和 59年度		平成25年度より 学生募集停止	
英米文化学科	4	-	-	-	学士 (人文学)		昭和 59年度		平成21年度より 学生募集停止	
人間心理学科	4	-	-	-	学士 (人間心理)		平成 12年度		平成23年度より 学生募集停止	
社会デザイン学科	4	-	-	-	学士 (現代社会)		平成 12年度		平成23年度より 学生募集停止	
仏教文化学科	4	-	-	-	学士 (人文学)		平成 23年度		平成25年度より 学生募集停止 平成23年度設置	
文化交流学科	4	-	10	-	学士 (人文学)		平成 23年度		平成25年度より 学生募集停止 平成23年度設置	
人文学科	4	90	-	90	学士 (人文学)	0.72	平成 25年度		平成25年度設置	
人間発達学部										
子ども発達学科	4	100	-	400	学士 (子ども発達学)	0.71	平成 18年度			
発達栄養学科	4	100	-	400	学士 (発達栄養学)	0.60	平成 18年度			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<音楽学部 音楽マネジメント学科>

### (1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科長)	ヤスイ トシオ 安井 敏雄	平成23年4月	音楽マネジメント入門 音楽産業ネットワーク論 IT音楽産業概論 インターンシップ実習 IT音楽産業持論 アートマネジメント研究 音楽ビジネス演習 音楽ビジネス卒業研究						インターンシップ研究 クラス数増加に伴い担当科目を追加(25)
専	教授	アカイ トシオ 赤石 敏夫	平成23年4月	ソルフェージュA ソルフェージュB 作・編曲法基礎 和声学 作・編曲法応用						
専	教授	ヤマモト エイジ 山本 英二	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B						
専	教授	カシワギ レイコ 柏木 玲子	平成24年4月	ポピュラー音楽概論 コード・プログレッション						
専	教授	イツカ イチロウ 飯塚 一朗	平成23年4月	合奏 I A 合奏 I B 合奏 II A 合奏 II B					合奏 III A 合奏 III B	クラス数増加に伴い担当科目を追加(25)
専	教授	オオイワ ハジメ 大岩 元	平成23年4月	音楽マネジメント入門 音楽とコンピュータ プログラミング基礎 I プログラミング基礎 II インターンシップ研究 プログラミング演習 I プログラミング演習 II IT音楽産業演習 インターンシップ実習 IT音楽産業卒業研究						
専	准教授	マツタニ ヨウコ 松谷 葉子 (フジオカ ヨウコ) (藤岡 葉子)	平成23年4月	音楽マネジメント入門 音楽企画演習 デジタル音楽機器演習A デジタル音楽機器演習B 音楽コンテンツ配信 の基礎 インターンシップ研究 インターンシップ実習 音楽事業管理論 音楽ビジネス起業論 音楽事業経営論 音楽企画実習 音楽ビジネス卒業研究 音楽ビジネス演習						
専	准教授	スナダ カズミチ 砂田 和道	平成23年4月	音楽マネジメント入門 音楽企画概論 インターンシップ研究 音楽企画演習 音楽企画実習 芸術経営論 音楽産業と文化政策 インターンシップ実習 コンサート企画実習 アーティスト論 音楽ビジネス演習 音楽ビジネス卒業研究						



専	講師	ハンダ ミツヨ 橋田 光代	平成23年4月	音楽マネジメント入門 アーティストのソフトウェアA アーティストのソフトウェアB 音楽企画演習 インターンシップ研究 インターンシップ実習 音楽企画実習 IT音楽産業卒業研究 コンサート企画実習 音楽と情報科学 IT音楽産業演習						
兼担	教授	チバ シンヤ 千葉 真也	平成23年4月	大学生のための日本語入門 日本語表現法						
兼担	教授	ヤマシタ ノボル 山下 昇	平成23年4月	大学生のための日本語入門 インターンシップ 英語Ⅰ 英語Ⅱ						
				英語Ⅲ	兼任	講師	アライ リンダ 新井 リンダ	平成24年4月	英語Ⅲ	所属学部等の都合により担当者変更(24)
					兼担	教授	キノシタ(モリミツ) アリコ 木下(森光) 有子	平成25年4月	英語Ⅲ	所属学部等の都合により担当者変更(25)
				英語Ⅳ	兼任	教授	キノシタ(モリミツ) アリコ 木下(森光) 有子	平成24年4月	英語Ⅳ※	所属学部等の都合により担当者変更(24)
					兼任	准教授	イシカワ レイコ 石川 玲子	平成24年4月	英語Ⅳ※	所属学部等の都合により担当者変更(24)
	兼担	准教授	イシカワ レイコ 石川 玲子	平成25年4月	英語Ⅳ	オムニバス授業から通常授業に変更(25)				
兼担	教授	シャク テツシュウ 釈 徹宗	平成23年4月	建学の精神						
				仏教思想と現代	兼任	准教授	ナオバヤシ フタイ 直林 不退 (ナオバヤシ シュウイチ) (直林 修一)	平成24年4月	仏教思想と現代	所属学科の都合により担当者変更(24)
	教授									平成25年4月1日より職位変更(25)
兼担	教授	トリイ マサハル 鳥井 正晴	平成23年4月	文学と人生						
兼担	教授	クロサカ トシアキ 黒坂 俊昭	平成24年4月	音楽の楽しみ	兼任	講師	スズキ ケイゴ 鈴木 敬吾	平成24年4月	音楽の楽しみ	所属学部等の都合により担当者変更(24)
兼担	教授	クレタニ ミツシム 呉谷 充利	平成23年4月	西洋美術史 社会と芸術						
兼担	教授	エグサ ヒロユキ 江草 浩幸	平成23年4月	心理学入門	兼担	教授	エグサ ヒロユキ 江草 浩幸	平成23年4月	心理学入門	大学生のための日本語入門
兼担	教授	ハンモト ジュンイチロウ 橋元 淳一郎	平成23年4月	物理学入門						クラス数増加に伴い担当科目を追加(23)
兼担	教授	ハセガワ セイイチ 長谷川 精一	平成23年4月	教育原論						
				学校と教師	兼任	講師	オクノ ヒロユキ 奥野 浩之	平成24年4月	学校と教師	所属学部等の都合により担当者変更(24)
					兼任	講師	バシケン シゲカズ 馬場野 成和	平成24年4月	学校と教師	所属学部等の都合により担当者変更(24)
	兼担	教授	ハセガワ セイイチ 長谷川 精一	平成25年4月	教職入門	所属学部等の都合により担当者変更 平成25年度入学生から、文部科学省教職員課 の指導により名称変更(25)				
兼担	教授	マエダ マサヒロ 前田 昌宏	平成23年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
				合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB	兼任	講師	カドヤ テエ 角家 千恵	平成24年4月	合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB	所属学部等の都合により担当者変更(24)

兼任	教授	サイトウ タツオ 齋藤 達男	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB 合奏ⅢA 合奏ⅢB 合奏ⅣA 合奏ⅣB						
兼任	教授	ナカタニ ミツル 中谷 満	平成23年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB 合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB 合奏ⅢA 合奏ⅢB 合奏ⅣA 合奏ⅣB						
兼任	准教授	ミヨシ ユキハル 三好 幸治	平成23年4月	法学入門 日本国憲法	兼任	講師	ミゾフチ マサアキ 溝淵 将章	平成25年4月	法学入門	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
					兼任	講師	テヨハラ リョウイチ 千代原 亮一	平成25年4月	日本国憲法	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
					兼任	講師	オクノ ヒロユキ 奥野 浩之	平成25年4月	日本国憲法	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
兼任	准教授	ニシサコ セイイチロウ 西迫 成一郎	平成24年4月	健康科学						
兼任	准教授	マサダ ケイ 益田 圭	平成24年4月	人権教育						
兼任	准教授	イシカワ レイコ 石川 玲子	平成24年4月	資格英語ⅢA 資格英語ⅢB						
兼任	准教授	ハヤシ ユタカ 林 裕	平成23年4月	音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB 合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB						
兼任	講師	タカキ マナブ 高木 学	平成23年4月	社会学概説 情報処理演習		准教授				職位の変更(23)
兼任	講師	イノウエ マキ 井上 麻紀	平成23年4月	音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB						
兼任	講師	イズミ タカコ 泉 貴子	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	イシイ タカコ 石井 尚子	平成23年4月	音楽基礎演習A 音楽基礎演習B						
兼任	講師	カサヤ イクコ 粕谷 育子	平成23年4月	ソルフェージュA ソルフェージュB					未開講	クラス編成の都合上、未開講。「ソルフェージュA、B」は、他のクラスがあるので支障はない。(24)
									未開講	クラス編成の都合上、未開講。「ソルフェージュA、B」は、他のクラスがあるので支障はない。(25)
兼任	講師	ヨシザワ ユカリ 吉澤 ゆかり	平成23年4月	ソルフェージュA ソルフェージュB 和声学					未開講	クラス編成の都合上、未開講。「和声学」は、他のクラスがあるので支障はない。(24)
									未開講	クラス編成の都合上、未開講。「和声学」は、他のクラスがあるので支障はない。(25)
				作・編曲法基礎 作・編曲法応用						

兼任	講師	タスエ カツシ 田末 勝志	平成23年4月	合唱						
兼任	講師	ユヒ クニコ 由比 邦子	平成24年4月	諸民族の音楽						
兼任	講師	キタガワ ジュンコ 北川 純子	平成23年4月	音楽の歴史A 音楽の歴史B	兼任	教授	クロサカ トシアキ 黒坂 俊昭	平成24年4月	音楽の歴史A 音楽の歴史B	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(24)
兼任	講師	ニフ アユミ 丹羽 あゆみ	平成24年4月	キーボードハーモニー						
兼任	講師	ウチオ エミ 内尾 恵美	平成24年4月	キーボードハーモニー						
兼任	講師	ヤギ リョウスケ 八木 良介	平成25年4月	楽器学 楽曲分析	兼任	准教授	マツモト ナオユキ 松本 直祐樹	平成25年4月	楽器学 楽曲分析	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(25)
兼任	講師	ミヤモト セイコ 宮本 聖子	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B						
兼任	講師	ニシモト ジュン 西本 淳	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B						
兼任	講師	シマダ アキラ 嶋田 明	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B 合奏 III A 合奏 III B 合奏 IV A 合奏 IV B						
兼任	講師	ノダ コウイチ 野田 篁一	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B						
兼任	講師	ヤマキ マサテル 矢巻 正輝	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B						
兼任	講師	オガタ フミノリ 緒方 文則	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B						
兼任	講師	ナカガワ トオル 中川 亨	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B						
兼任	講師	ソガベ テエコ 曾我部 千恵子	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B						
兼任	講師	ハヤシ トシタケ 林 俊武	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 音楽演習 III A 音楽演習 III B 音楽演習 IV A 音楽演習 IV B						
兼任	講師	ワタナベ ユキコ 渡辺 友希子	平成23年4月	音楽演習 I A 音楽演習 I B 音楽演習 II A 音楽演習 II B 合奏 III A 合奏 III B 合奏 IV A 合奏 IV B						

兼任	講師	フクイ アキラ 福井 聡	平成23年4月	音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB 合奏ⅢA 合奏ⅢB 合奏ⅣA 合奏ⅣB						
兼任	講師	ヒラオ タミノ 平尾 多美納 (ニシオカ タミノ) (西岡 多美納)	平成23年4月	音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB 音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB 合奏ⅠA 合奏ⅠB 合奏ⅡA 合奏ⅡB						
兼任	講師	シヤカゴオリ ヨウスケ 釈迦郡 洋介	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	ヒラヤマ ヨシエ 平山 善恵	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	シオミ タスク 塩見 亮	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	ムカイ カズヒサ 向井 和久	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	オカモト テツ 岡本 哲	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	ヨシノ タツキ 吉野 竜城	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	ソダ レイコ 曾田 玲子	平成25年4月	音楽演習ⅢA 音楽演習ⅢB 音楽演習ⅣA 音楽演習ⅣB						
兼任	講師	マンダ カズキ 萬田 一樹	平成23年4月	歌唱法 音楽演習ⅠA 音楽演習ⅠB 音楽演習ⅡA 音楽演習ⅡB						
兼任	講師	ヤマダ ナツ 山田 夏	平成25年4月	コンピュータミュージック基礎 コンピュータミュージック制作						
兼任	講師	タニモト ユタカ 谷本 裕	平成23年4月	音楽マネジメント・ リーダーシップ論						
兼任	講師	ワカモト カツヨシ 若本 勝義	平成23年4月	キャリアデザイン						
兼任	講師	コドノ オリエ 神殿 織江	平成23年4月	コミュニケーションと交渉術						
兼任	講師	マツダ ユウジ 松田 雄治	平成24年4月	ビジネス英語A ビジネス英語B						
兼任	講師	カイ タカヒロ 甲斐 隆浩	平成24年4月	プレゼンテーション Webデザイン CGプログラミング						
兼任	講師	ムラカミ シンイチロウ 村上 心一郎	平成25年4月	ビジネス中国語A ビジネス中国語B						

兼任	講師	タチオカ ヒロシ 立岡 浩	平成25年4月	音楽著作権 ※							
兼任	講師	ナカイ ヒデノブ 中井 秀範	平成25年4月	音楽著作権 ※							
兼任	講師	フジオカ タクミ 藤岡 巧	平成25年4月	国際文化関係論							
兼任	講師	カキサキ ケイジ 柿崎 景二	平成25年4月	音響学A 音響学B							
兼任	講師	テラニシ ハジメ 寺西 肇	平成26年4月	音楽出版と 広告メディア論							
兼任	講師	クドウ ヤスノリ 工藤 保則	平成26年4月	マンガ・アニメ 音楽文化論							
兼任	講師	ハヤシ トオル 林 徹	平成26年4月	ゲーム・ミュージック文化論							
兼任	講師	カクヨセ ハルヒロ 片寄 晴弘	平成24年4月	デジタル音楽基礎概論 デジタル音楽基礎特論							
兼任	講師	クノ カツヤ 久野 勝也	平成24年4月	録音の技術と表現 サウンド・リインフォースメント 舞台組織機構概論							
兼任	講師	タカオキ ヒデアキ 高沖 秀明	平成26年4月	映像と音楽と放送							
兼任	講師	オクノ タクジ 奥野 卓司	平成25年4月	音楽とライブラリ構築	兼任	講師	オクノ タクジ 奥野 卓司	平成25年4月	音楽とライブラリ構築 ※		オムニバス授業に変更(25)
					兼任	講師	タカノ ヒロカズ 鷹野 弘和	平成25年4月	音楽とライブラリ構築 ※		オムニバス授業に変更したため担当者を追加(25)
					兼任	講師	タニムラ カナメ 谷村 要	平成25年4月	音楽とライブラリ構築 ※		オムニバス授業に変更したため担当者を追加(25)
兼任	講師	ヒオキ コウイチロウ 日置 弘一郎	平成25年4月	音楽マーケティング論							
兼任	講師	デグチ タンリュウ 出口 湛龍	平成23年4月	建学の精神	兼任	准教授	ササキ タカアキ 佐々木 隆晃	平成23年4月	建学の精神		平成23年4月より、本務の都合により就任辞退。 担当者変更(23)
兼任	講師	タムラ シオン 多村 至恩	平成23年4月	建学の精神 仏教思想と現代							
兼任	講師	ホンダ アヤ 本多 彩	平成23年4月	建学の精神 仏教思想と現代							
兼任	講師	ナガオカ ガクチョウ 長岡 岳澄	平成23年4月	建学の精神	兼任	講師	ツカダ ノリヒロ 塚田 博教	平成23年4月	建学の精神		平成23年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(23)
兼任	講師	ノリヤマ サトル 乗山 悟	平成24年4月	仏教思想と現代	兼任	講師	ノリヤマ サトル 乗山 悟	平成23年4月	建学の精神 仏教思想と現代		クラス数増加に伴い担当科目を追加(23)
兼任	講師	チタニ キミカズ 智谷 公和	平成24年4月	仏教思想と現代				平成25年4月	仏教思想と現代		クラス編成の都合上、未開講。 「仏教思想と現代」は、他のクラスがあるので支障はない。(24) 通常開講(25)
								平成24年4月	建学の精神		クラス数増加に伴い担当科目を追加(24)
兼任	講師	イケヤマ セツロウ 池山 説郎	平成23年4月	科学と人間 科学史入門							
兼任	講師	ホンダ マコト 本多 真	平成24年4月	環境と人間							
兼任	講師	クワハラ ヒデユキ 桑原 英之	平成24年4月	生命と人間							

兼任	講師	タナカ フジオ 田中 不二夫	平成23年4月	西洋文化史 美学							
兼任	講師	ニシオ ヤスヒロ 西尾 泰広	平成23年4月	日本歴史入門							
兼任	講師	オオニシ リクコ 大西 陸子	平成24年4月	世界歴史入門							
兼任	講師	セキグチ ヤスユキ 関口 靖之	平成23年4月	地理学入門(地誌を含む)							
兼任	講師	タナカ ヨシコ 田中 美子	平成23年4月	倫理学入門							
兼任	講師	スギモト ヨシオ 杉本 良雄	平成23年4月	経済学入門	兼任	教授	カタオカ タダシ 片岡 尹	平成25年4月	経済学入門		所属学部等の都合により担当者変更(25)
兼任	講師	スガ ルミコ 菅 るみこ	平成24年4月	経営学入門 マーケティング入門			スガ マキコ 菅 万希子				改姓(24)
					兼任	講師	イケダ ヒロシ 池田 浩	平成25年4月	経営学入門	所属学部等の都合により担当者変更(25)	
					兼任	講師	ミヤザキ タカマサ 宮崎 崇将	平成25年4月	マーケティング入門	所属学部等の都合により担当者変更(25)	
兼任	講師	オオタニ シンタロウ 大谷 新太郎	平成24年4月	観光学入門					未開講	隔年開講科目のため、今年度は未開講(25)	
兼任	講師	ヤマザキ ミツヒコ 山崎 充彦	平成23年4月	政治学入門	兼任	講師	ツネモト ハジメ 常本 一	平成23年10月	政治学入門		平成23年10月より、都合により担当者変更(24)
										未開講	平成25年4月より、本務の都合で就任辞退。 今年度は、未開講。 他の選択科目があるので支障はない。(25)
兼任	講師	ムカイ タダシ 向井 正	平成23年4月	数学入門 地球と宇宙							
兼任	講師	ハラダ ナルヒコ 原田 匠彦	平成23年4月	化学入門							
兼任	講師	ヨシナリ サトシ 吉成 哲史	平成23年4月	生物学入門	兼任	講師	オオタ カズタカ 太田 和孝	平成24年4月	生物学入門		平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(24)
				情報処理演習					未開講	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。 「情報処理演習」は、他に担当教員がいるため 支障はないので未開講(24)	
兼任	講師	ナカガワ マナブ 中川 学	平成24年4月	現代と医学							
兼任	講師	ヤノ トモコ 矢野 朋子	平成23年4月	看護介護入門	兼任	講師	マエダ テエコ 前田 智恵子	平成24年4月	看護介護入門		平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(24)
兼任	講師	オカモト カヨコ 岡本 香代子	平成24年4月	健康科学							
兼任	講師	オクノ マサミチ 奥野 暢通	平成23年4月	健康科学						未開講	クラス編成の都合上、未開講。 「健康科学」は、他のクラスがあるので支障はない。(24)
				健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習					未開講	クラス編成の都合上、未開講。 「健康科学」は、他のクラスがあるので支障はない。(25)	
兼任	講師	ミナトノ エミ 港野 恵美	平成23年4月	健康とスポーツ実習						未開講	クラス編成の都合上、未開講。 「生涯健康とスポーツ実習」は、他のクラスがあるので支障はない。(24)
				生涯健康とスポーツ実習					未開講	クラス編成の都合上、未開講。 「生涯健康とスポーツ実習」は、他のクラスがあるので支障はない。(25)	

兼任	講師	アリタ ヒロシ 有田 浩史	平成23年4月	健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習					未開講	クラス編成の都合上、平成23年4月より未開講。「健康とスポーツ実習」「生涯健康とスポーツ実習」は、他に担当者がいるため支障はない。(23)
									未開講	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。「健康とスポーツ実習」「生涯健康とスポーツ実習」は、他に担当教員がいるため支障はないので未開講(24)
兼任	講師	オチ ユウコウ 越智 祐光	平成23年4月	健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習	兼任	講師	シバヤマ ケイ 柴山 慧	平成23年4月	健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習	平成23年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(23)
					兼任	講師	シバヤマ ケイ 柴山 慧	平成24年4月	健康とスポーツ実習	「生涯健康とスポーツ実習」は、クラス編成の都合上、未開講。「生涯健康とスポーツ実習」は、他のクラスがあるので支障はない。(24)
兼任	講師	アズマ タカシ 東 隆史	平成23年4月	健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習	兼任	講師	オカモト カヨコ 岡本 香代子	平成23年10月	健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習	平成23年10月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(24)
兼任	講師	サトウ ミツコ 佐藤 光子	平成23年4月	健康とスポーツ実習 生涯健康とスポーツ実習					未開講	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。「健康とスポーツ実習」「生涯健康とスポーツ実習」は、他に担当教員がいるため支障はないので未開講(24)
兼任	講師	シモジ シンヤ 下地 信也	平成23年4月	キャリアデザイン論 キャリアデザイン演習						
兼任	講師	オカモト クニコ 岡本 久仁子	平成23年4月	情報処理演習						
兼任	講師	オカダ ユタカ 岡田 裕	平成23年4月	情報処理演習 情報と社会						
兼任	講師	ナカジマ キンヤ 中島 欣哉	平成23年4月	情報処理演習						
兼任	講師	ハヤシ ミエコ 林 美恵子	平成23年4月	情報処理演習						
兼任	講師	ハギワラ マサヤ 萩原 雅也	平成23年4月	生涯学習概論						
兼任	講師	ヒラマツ カツイチ 平松 克一	平成23年4月	図書及び図書館史					未開講	司書課程科目を一部変更した結果、「図書・図書館史」に名称変更し資格課程科目に移行したため、「図書及び図書館史」は未開講(24)
					兼任	講師	ヤマモト ジュンイチ 山本 順一	平成24年4月	図書館概論	平成24年度から司書課程科目を一部変更した結果、科目を追加(24)
					兼任	教授	キタ カツイチ 北 克一	平成25年4月	図書館概論	平成25年4月より、専任を採用したため担当者変更(25)
兼任	講師	ナフ ツキノスケ 名和 月之介	平成24年4月	ボランティア論 ボランティア体験						
兼任	講師	トミオカ ミチコ 富岡 美知子	平成24年4月	異文化間教育論						
兼任	講師	ナカオ シホウ 中尾 史峰	平成24年4月	宗門法規	兼任	講師	ハヤシ ハルオ 林 春男	平成24年4月	宗門法規	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(24)
兼任	講師	カドノ ヒロアキ 葛野 洋明	平成24年4月	布教法	兼任	講師	タケモト リョウゴ 竹本 了悟	平成25年4月	布教法	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。担当者変更(25)
兼任	講師	タカハシ アキト 高橋 昭人	平成24年4月	動式作法					未開講	同科目区分の開講数を勘案した結果、平成24年度は未開講(24)
								平成25年4月	動式作法	通常開講(25)
兼任	講師	ヨハン E アルスドルフ J.E.Alsdorf	平成23年4月	英会話 I 英会話 II						
兼任	講師	モリカワ ヤスコ 森川 康子	平成23年4月	英会話 I 英会話 II						
兼任	講師	マイケル C ルイス Michael.C.Lewis	平成23年4月	英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV	兼任	講師	ヨハン E アルスドルフ J.E.Alsdorf	平成25年4月	英会話 III 英会話 IV	所属学部等の都合により担当者変更(25)

兼任	講師	クボ キミヒト 久保 公人	平成23年4月	英語 I 英語 II					未開講	クラス編成の都合上、平成25年4月より未開講。「英語 I」「英語 II」は、他に担当者がいるため支障はない。(25)
兼任	講師	ナカジマ ヒロコ 中島 寛子	平成23年4月	英語 I 英語 II 資格英語 II A 資格英語 II B						
兼任	講師	ニシガキ ユカ 西垣 有夏	平成23年4月	英語 I 英語 II						
兼任	講師	ノグチ マサコ 野口 昌子	平成23年4月	英語 I 英語 II 資格英語 I A 資格英語 I B						
兼任	講師	マツモト サオリ 松本 沙織	平成23年4月	英語 I 英語 II						
兼任	講師	シマモト ケイタ 嶋本 慶太	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II					未開講	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。「ドイツ語 I」、「ドイツ語 II」は、他に担当者がいるため支障はない。(25)
兼任	講師	タジマ アキヒロ 田島 昭洋	平成23年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II						
兼任	講師	コマツ マサミチ 小松 正道	平成23年4月	フランス語 I フランス語 II					未開講	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。「フランス語 I」、「フランス語 II」は、他に担当者がいるため支障はない。(25)
兼任	講師	コマツ ヒロアキ 小松 寛明	平成23年4月	イタリア語 I イタリア語 II						
兼任	講師	ケヤキダニ ユキコ 榎谷 由紀子	平成23年4月	イタリア語 I イタリア語 II						
兼任	講師	タナカ ヨウコ 田中 洋子	平成23年4月	中国語 I 中国語 II						
	兼任				兼任	講師	スズキ ケイゴ 鈴木 敬吾	平成23年4月	大学生のための日本語入門	クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
									未開講	「大学生のための日本語入門」は、所属学部等の都合により担当者変更(25)
								平成25年4月	日本語表現法	所属学部等の都合により担当者追加(25)
	兼任				兼任	講師	マツバラ マコト 松原 真	平成24年4月	日本語表現法	クラス数増加に伴い担当科目を追加(24)
								平成25年4月	大学生のための日本語入門	所属学部等の都合により担当者追加(25)
	兼任				兼任	講師	オウ カズミ 翁 和美	平成24年4月	社会学概説	クラス数増加に伴い担当科目を追加(24)
									未開講	クラス編成の都合上、「社会学概説」は未開講。「社会学概説」は、他のクラスがあるので支障はない。(25)
	兼任				兼任	講師	コンドウ キンイチ 近藤 欣一	平成24年4月	人権教育	クラス数増加に伴い担当科目を追加(24)
	兼任				兼任	講師	クラモト カオリ 倉本 香	平成23年4月	教育原論	クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
									未開講	クラス編成の都合上、「教育原論」は未開講。「教育原論」は、他のクラスがあるので支障はない。(25)
	兼任				兼任	講師	ヤマモト カオリ 山本 香理	平成23年4月	フランス語 I フランス語 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
							ササキ カオリ 佐々木 香理			改姓(25)
	兼任				兼任	講師	リ ネイ 李 寧	平成23年4月	中国語 I 中国語 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
	兼任				兼担	准教授	ナオバヤシ フタイ 直林 不退 (ナオバヤシ シュウイチ) (直林 修一)	平成24年4月	大学生のための日本語入門	クラス数増加に伴い担当者を追加(24)
						教授				平成25年4月1日より職位変更(25)



				兼任	講師	マシュー アイアナロン Matthew Iannarone	平成23年4月	英会話 I 英会話 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
				兼任	講師	アンドリュー リーガル Andrew Regal	平成24年4月	英会話 I 英会話 II	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(24)
				兼任	講師	ポール・ジョーゲンセン Paul Jorgenson	平成25年4月	英会話 I 英会話 II	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(25)
				兼任	講師	ジョナサン ボーンホフ Jonathan Bomhoff	平成23年4月	英会話 I 英会話 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
				兼任	講師	トーマス ウォーカー Thomas Walker	平成24年4月	英会話 I 英会話 II	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(24)
				兼任	講師	アンドリュー・ケツスィーカス Andrew Katsikas	平成25年4月	英会話 I 英会話 II	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(25)
				兼任	講師	ジェイソン ブラック Jason Black	平成23年4月	英会話 I 英会話 II	クラス数増加に伴い担当者を追加(23)
				兼任	講師	ケビン ベレンス Kevin Behrens	平成24年4月	英会話 I 英会話 II	平成24年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(24)
				兼任	講師	ジェイレイミー Jay Ramey	平成25年4月	英会話 I 英会話 II	平成25年4月より、本人の都合により就任辞退。 担当者変更(25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6	2	1	0	9	6	2	1	0	9	68	2
( 5 )	( 2 )	( 1 )	( 0 )	( 8 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成23年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年2月)	<p>人文学部仏教文化学科、文化交流学科、日本文化学科、音楽学部音楽マネジメント学科、人間発達学部発達栄養学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>人文学部の3学科（仏教文化学科、文化交流学科、日本文化学科）は、平成24年度の入学生も定員を大きく割り込んだ。そのため、平成23年度に設置した仏教文化学科、文化交流学科に、日本文化学科を含めた既存の3学科を1学科（人文学科）に改編すべく検討を重ね、平成23年4月25日に文部科学省大学設置室に設置届出を行った。</p> <p>音楽学部音楽マネジメント学科は、在学生と共に出身校である高校への訪問強化、学生募集対策のための学生主体のイベントの実施、提携校との連携の一環として提携校生徒のオープンキャンパスへの参加等、学科独自の「出口・入口委員会」を中心に検討を加えている。</p> <p>人間発達学部発達栄養学科は、管理栄養士国家試験の合格率の低迷が要因の一つと考えられるが、年々合格率は上向き傾向にあり、学科における国家試験対策委員会を中心として、更なる合格率アップのための方策を図っているところである。また、本学の特徴であるエクステンション事業、ボランティア活動等をさらにピーアールし、認知度を高めるべく努めているところである。</p> <p>平成23年3月に策定した「相愛大学将来構想」において、学生確保の対策として、IRの強化を掲げている。学内外においてのデータの収集、分析を行い、データを基にした重要高校の位置づけ、提携高校の選定、更には、広報活動の工夫と強化など、学生募集への対策を行っているところである。また、各学科とも、オープンキャンパスへの参加者の入学率が高いことから、オープンキャンパスへの参加促進を第一に掲げ、入試課を中心に、各学部・学科との連携を密にして、募集対策にあたっている。</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月)	<p>人文学部仏教文化学科，文化交流学科，日本文化学科，音楽学部音楽マネジメント学科，人間発達学部発達栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから，学生の確保に努めるとともに，入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>平成25年度当初から、留意事項を付された学科のみならず、すべての学科における学生募集対策について、執行部会議、入試委員会、学部教授会、学科会等で検討を重ねた。高校訪問の見直し、オープンキャンパスへの参加促進を全学の共通認識とし、各学部・学科において個別の対策を講じることとした。</p> <p>音楽学部音楽マネジメント学科は、学科会に於いて、引き続き、在学生と共に出身校である高校への訪問を強化する他、高校の吹奏楽部への訪問を行い、音楽に興味を持つ生徒の掘り出しに努めること、訪問する高校では、学科の内容の説明を行うだけでなく、機会に応じて関連する講義を行うこと、学科独自のホームページを立ち上げ、在学生が高校生に近い目線で学科紹介のコンテンツを作成し、一般に認知度の高くない名称の学科の内容を分かりやすく説明すること、とした共通認識の下で募集活動を行い、さらに、学科内でこうした募集活動での情報共有を図るため、毎週「進捗会議」を開き、「週報」を作成することで意識確認を行った。</p> <p>人間発達学部発達栄養学科は、入学者数の増加に向けて、社会貢献・地域連携によるエクステンション事業の充実により実践的教育力を養い、その存在をアピールすることで学生募集へと繋げていくこと、また、管理栄養士国家試験の合格率アップを最重要課題に据え、全教員による学力向上強化対策講座の通年実施を行うほか、国試対策演習室を充実させ、学生の能動的な学修支援を行うことで合格率アップを目指し、ひいては、入学生確保へと繋げていくこととした。</p> <p>人文学部の3学科（仏教文化学科、文化交流学科、日本文化学科）は、定員に示す入学者を確保することが困難となり、平成23年度に設置した仏教文化学科、文化交流学科の2学科に、日本文化学科を含めた既存の3学科を1学科に改編すべく、平成24年4月に文部科学省大学設置室に設置届出を行い、人文学科（定員90名）として、平成25年4月に開設を行った。</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<音楽学部 音楽マネジメント学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

平成20年度より、全学的なFD委員会が設置されている。  
 （別紙1：相愛大学FD委員会規程）

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成24年度は、計6回（5/11、6/5、7/26、10/11、1/10、2/12）委員会が開催された。  
 委員の構成は、副学長、自己点検副委員長、教学部長、各学部より選出された自己点検委員1名、共通教育センター選出の自己点検委員1名、教学事務部長、学生事務部長、その他学長が必要と認めた者若干名。（平成24年度の委員構成は、教員6名と職員2名）

##### c 委員会の審議事項等

- ・ 各施策の実施について
- ・ 授業評価アンケートについて
- ・ 授業公開（見学）について
- ・ 授業評価アンケートの結果分析について
- ・ FD研修会の実施について

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ シンポジウム形式によるFD研修会
- ・ 外部講師によるFD研修会
- ・ 体験型のFD研修会

##### b 実施方法

- ・ 授業評価アンケートの実施  
 講義期間内に実施し、教員に結果をフィードバックし、それについての教員の意見及び改善が必要な場合の改善方策を提出させることで、早急な授業改善に繋げている。  
 結果についても、ポータルサイトにおいて教職員・学生に向けて公開している。

- ・教員相互の授業参観  
参加の機会を増やすために、原則として全授業公開としてして実施した。  
終了後、授業の内容、教授方法等についての、参観者からのコメントを、「FD授業見学コメント集」として冊子を作成するとともに、授業改善に繋げている。
- ・シンポジウム形式によるFD研修会  
学生の実態を把握するとともに、各パネリスト（教員・事務職員）から、課題や意見、問題提起がなされ、意見交換を実施。
- ・外部講師によるFD研修会  
外部から招聘した適任者による講演会を実施。
- ・体験型のFD研修会  
「学生時代にもどって、主体的学修を体験してみよう！－「ALPS」初公開－」  
主体的学修を支援するスペースの完成に伴う、施設の概要説明とPCを使つての自習用ソフトの体験。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケートの実施  
年1回実施（全教員ひとり1科目を対象として実施。実施時期：12月3日～15日）
- ・教員相互の授業参観  
年1回実施（11月5日から11月10日の間／専任教員の授業はすべて公開。）
- ・シンポジウム形式によるFD研修会  
2011年度 「相愛大学のFD活動の現状と課題－何が達成されたのか、何がさらに求められているのか－」  
（2012年2月15日開催）  
2012年度 「基礎学力テスト結果が示す相愛大生の現状とそれへの対策」  
（2012年6月28日開催）
- ・外部講師によるFD研修会  
研修会は2008年度から実施しており、各年度の開催内容は次の通り。（各回の参加者は、40～70名）  
2008年度 「大学全入時代の学生の傾向と対策」（2009年2月19日開催）  
2009年度 「学生の基礎学力をどう育成するか」（2010年2月22日開催）  
2010年度 「授業を通して学生の社会人基礎力をどう育成するか」（2011年2月16日開催）  
2011年度 「学生中心・学習重視の大学へアウトカムを重視した質保証システムの構築」  
（2011年6月16日開催）  
2011年度 「関西国際大学におけるアクティブ・ラーニングと学生メンター」（2011年10月24日開催）  
2012年度 「立命館大学における教学IR－教育改善とIRのリンケージ」（2012年11月2日開催）
- ・体験型のFD研修会  
「学生時代にもどって、主体的学修を体験してみよう！－「ALPS」初公開－」（2013年2月20日開催）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートの結果を受けて、各教員に結果に対するコメント、改善の方法などを記述してもらい、並行して委員会において分析し取りまとめたものを、冊子にして刊行・配布すると共に、ポータルサイトに公開を行っている。FD委員会や各学部等において、改善の方途を集团的に検討している。
- ・教員相互の授業参観については、授業公開終了後に今後の改善に資するよう、担当者を含めた検討会を開いている。また、「FD授業見学コメント集」を作成し、改善につなげている。
- ・FD研修会については、終了後、参加者からコメントを求め、「FD研修会コメント集」として冊子を作成し、今後の教育改革に繋げている。
- ・全学的な取り組みについては一定の方式が定着し、積み上げられてきており、授業改善に効果が見られつつある。さらに継続的に検証を加え、また綿密化を図りながら、組織全体に行き渡らせるために、各学部でのFD活動を活発化させていきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施時期：12月3日～12月15日

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートの結果を受けて、各教員に結果に対するコメント、改善の方法などを記述してもらい、並行して委員会において分析し取りまとめたものを、冊子にして刊行・配布すると共に、ポータルサイトに公開を行っている（教員・学生共に閲覧が可能）。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  
(別紙2)
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表(予定)時期
- ・「響流(こうる)第4号」 平成22年7月公表
- b 公表方法
- ・自己点検・評価報告書「響流(こうる)」を刊行し、教職員および関係諸機関に配布
  - ・刊行後、大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・平成21年3月に評価機関(大学基準協会)の評価を受け「保留」と判定された後、平成23年6月に再評価の改善報告書を提出した結果、「適合」と判定された。(認定期間:平成24年4月~平成28年3月まで)
  - 次の認証評価の受審は、平成27年度を考えているが、機関については現在検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成25年 7月 末日 )



## 相愛大学 FD 委員会規程

### (設置)

第1条 相愛大学（以下「本学」という。）に FD 委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (目的)

第2条 本学教員の教育研究活動の向上と能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、FD に関わる事項を審議する。

### (所管)

第3条 委員会は以下の事項を所管する。

- (1) FD の企画・立案に関すること
- (2) FD の実施計画と運営に関すること
- (3) FD 活動に関わる情報の収集と提供
- (4) FD に関する広報活動
- (5) その他 FD に関する事項

### (構成)

第4条 委員会は次の者をもって構成する。

- (1) 副学長
- (2) 自己点検副委員長
- (3) 教学部長
- (4) 各学部より選出された自己点検委員 1 名
- (5) 共通教育センター選出の自己点検委員 1 名
- (6) 教学事務部長
- (7) 学生事務部長
- (8) その他学長が必要と認めた者若干名

### (委員長)

第5条 委員会を統括するために委員長を置く。

- 2 委員長は委員の中から学長が任命する。
- 3 委員長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
- 4 委員長は必要に応じて委員会を招集し、議長となる。

### (任期)

第6条 前々条の委員の任期は次の通りとする。

- (1) 前々条第 1 号、2 号、3 号、6 号、7 号の委員の任期はその在任中とする。
- (2) 前々条第 4 号、5 号、8 号の委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

### (事務の所管)

第7条 委員会の事務は教学課が所管する。

### (改廃)

第8条 この規程の改廃は大学評議会の議を経て学長が行う。

附則 この規程は平成 20 年 7 月 17 日より施行する。

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する統括評価・所見

### ○「音楽マネジメント学科」の設置の趣旨・目的

「音楽マネジメント学科」では、「芸術文化の振興」や「音楽産業の発展」に貢献する教育研究を行い、国際的視野をもつ優れた人材の育成を理念に掲げている。そのために、音楽や芸術の専門知識を学び、併せて「経営管理学」や「IT（情報技術）」を学ぶことで「アートマネジメント」や「IT 音楽産業」などの分野で活躍する人材を育成すること、また、キャリアデザインができ、自立の能力を身につけ国際的な視野をもつ人材を育成することを目的として、座学だけでなく、プロジェクトメソッドやケーススタディを取り入れ、コンサートやイベントの企画・運営の経験など、「実践」も取り入れた教育を行うこととしている。

### ○設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

#### 教育課程等

近隣のアメニティ向上のために活動している「堺筋アメニティ・ソサエティ」が開催するコンサート等のイベントの企画や運営に携わったり、本町学舎が立地する大阪府中央区で地域社会に根ざした企業等の社会貢献活動を行うべく設立されている「中央区フィランソロピー懇談会」に参加するなど、実践教育の一環としての知識の修得と共に、地域の活性化への活動にも目を向けた教育の実践を行った。

また学内の録音スタジオにおける、本格的な CD 録音制作プロジェクトも実施され、各種録音技術や舞台機構調整技能士他の資格取得などに向けての準備も行う他、『Ustream 配信』や『初音ミク』（DTM ソフトウェア）などを使った IT 関係の演習も行われ、教育内容は充実してきている。10 月には、今後の進路の参考も兼ねて、東京の音楽関係企業や施設への視察研修を実施し、CM の制作の実際や、ホールの見学、運営・事務の業務の理解、また CD から音楽配信に急変する業界の状況、著作権の問題等について直接現場で業務にあたっておられる方からの話を聞くなどし、音楽ビジネスの市場や環境の“今”を理解するなどの体験も行った。実際の現場に触れることで、学生も刺激を受け社会人への意識高揚にも大変効果があったと考えている。今後、3 年生には学生支援センターとの連携の下、インターンシップ研修をスタートさせ、進路指導と就職活動支援活動を本格化させることとしている。

専門科目については、不開講科目もなく予定通り授業が行われている。

#### 施設・設備等

本町学舎での授業等は、平成 24 年度は火・木・金の週 3 回のみ 2 年次生において行われていたが、平成 25 年度からは、3 年次生も加わり、月～土の毎日行われており、南港学舎との行き来についても支障をきたすこともなく予定通り運営されている。本町学舎での講義室、PC 教室、グループレッスン室、楽器練習室、録音スタジオ、学生控室等の他、研究室、講師室等新たに竣工された各施設は、2・3 年次の学生及び教員に予定通り利用されているにとどまらず、学生が企画・運営に参加する各種イベント等にも、それらの施設が大変有効に使われ始めている。

#### 学生募集、入学者選抜等

学生募集に関しては、引き続き、オープンキャンパスへの参加促進を最重点課題とし、在学生と共に出身校である高校への訪問を強化する他、高校の吹奏楽部への訪問を行い、音楽に興味を持つ生徒の掘り出しに努めるなど、地道な活動を行った。また、学科独自のホームページ

を立ち上げ、在学生在が高校生に近い目線で学科紹介のコンテンツを作成し、一般に認知度の高くない名称の学科の内容を分かりやすく説明するなども行った結果、一定程度の年次的な入学者増がみられたが、入学定員超過率は、0.54に留まり、十分な結果を残すことはできなかった。しかし、これらの取組みによる成果で、オープンキャンパスへの参加者数も若干ではあるが前年度を上回っており（対前年度比1.2倍）、引き続き、学科内で募集活動での情報共有を図るための、「進捗会議」（毎週）を開き、「週報」を作成することで意識確認を行う一方、それぞれの広報活動についても、地道に行っていくこととする。

入学者選抜においては、平成24年度入試から取り入れた「AO入試」での入学者が対前年度比4.0倍に及び、学科の教育内容を理解しての入学者増であると認識している。しかし、その他の入学者選抜においても、志願者増をめざすことが必要であり、同窓会会員による特別推薦入試などでの学生確保をめざすとともに、更に入試制度全般についての再検討も図っていきたい。

なお、上記以外の事項については、ほぼ当初計画通りに運用がなされているが、次年度以降も、学年進行に従い、設置計画を確実に履行していきたいと考えている。